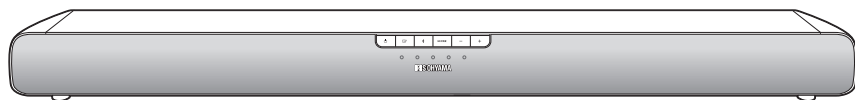


サウンドスピーカー

HT-SB115

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	6
付属品	7

準備

各部の名称	8
設置する	11
接続する	12

使いかた

使いかた	14
Bluetooth機器の音声を聴く	16

こんなときには

お手入れ	17
無線機能使用について	17
故障かな？と思ったら	19
仕様	22
保証とアフターサービス	23
保証書	裏表紙

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず
お読みください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売
店名」の記入を必ず確かめ、販売店
からお受け取りください。
- この取扱説明書はお使いになる方が
いつでも見ることができるよう大切
に保管してください。

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する
異常が生じた場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグを抜く

- お手入れや移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体差し込みプラグを本体から抜く
感電やけがの原因になります。

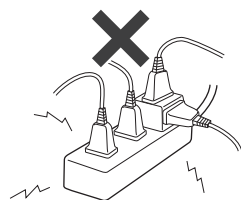


ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。





- 交流100V以外では使わない

- 海外で使わない

火災・感電の原因になります。

本機は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる海外の電源では使用しないでください。

- 電源コードを傷つけない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 電源コードを抜くときはコードを無理に引っ張らない

プラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷し、火災や感電の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

- 乳幼児に電源プラグをなめさせない

けがや感電の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 使用中ときどき電源が切れる
 - 触れると電気を感じる
 - 損傷や水もれがある
- ➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

安全上の注意 つづき



感電注意

- 雷が鳴りだしたら本機や電源コードに触れない
感電の原因になります。



- 熱器具の上やそばで使わない
- 熱器具や火のついたろうそくなどを上に載せない
火災・感電・やけどの原因になります。



- 不安定な場所に設置しない
ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや家財の破損の原因になります。
水平で安定した場所に設置してください。
- 湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用しない
火災や感電の原因になります。
特に浴室などでは絶対に使用しないでください。



- 開口部をふさがない
- 風通しの悪い場所に設置しない
- 布などをかぶせない
- 毛足の長いじゅうたんやふとんの上で使用しない
火災の原因になります。



- 梱包用の袋や小さな部品を乳幼児の手が届くところに置かない
袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



水ぬれ禁止

- 水をかけない
- 水がかかるような場所で使用しない
- 水の入った花瓶などを上に載せない
火災・感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく
液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



分解禁止

- 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。
- コイン電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

安全上の注意 つづき



- 専用の電源コード以外は使用しない
- 付属の電源コードを他の機器に使用しない
火災の原因になります。
- 大音量で長時間続けて聴かない
聴力に悪い影響が出ることがあります。
- 人が通る場所に置かない
- 人が通る場所にコード類を配置しない
けがの原因になります。



プラグを抜く

- 長期間使わないときは、電源プラグを抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは、ワイヤレス機能を使用しない
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

使用上の注意

- 廃棄について
製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- バスレフポート（左右）の穴に物が入らないように注意してください。

- 音のエチケット
・適度な音量にして、隣近所へ十分配慮しましょう。
・特に夜間は小さめの音量でも周囲にはよく通ります。窓を閉めるなどの配慮をしましょう。



音のエチケット

使用上の注意 つづき

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、当社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

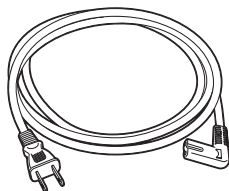
HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、及びHDMIロゴは、米国及びその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

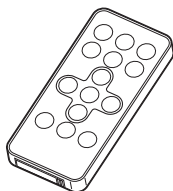
※ その他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

付属品

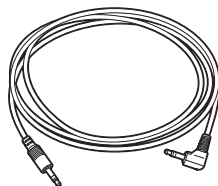
電源コード



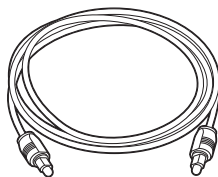
リモコン



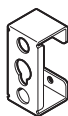
ステレオ音声ケーブル
(3.5mmミニプラグ)



光デジタルオーディオ
ケーブル (角型プラグ)



壁付けブラケット
×2



壁付け用ねじ
×4



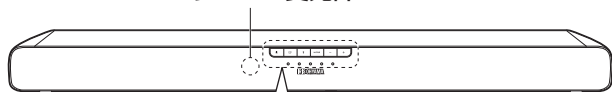
コンクリート壁用
アンカー ×4



各部の名称

■ 本体前面

リモコン受光部



※ (Bluetooth) ボタン

ボタンを押すとBluetoothモードになります。

⏮ (入力切換) ボタン

ボタンを押すたびに、再生する音声の入力が切り換わります。

⏻ (電源) ボタン

ボタンを押すたびに、電源の入とスタンバイを切り換えます。

▶|| (再生／一時停止) / PAIRボタン

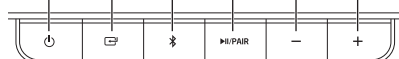
Bluetoothで接続している機器が、AVRCP対応している場合は、ボタンを押すと、再生／一時停止の操作ができます。

Bluetoothモードのとき、ボタンを長押しすると、接続（ペアリング）を開始します。接続されているときにボタンを長押しすると、接続を解除します。

－／＋ (音量) ボタン

音量を調節します。

HDMIで接続した機器の、「HDMI連動機能」を「入」にすると、接続した機器で本機の音量調節ができるようになります。



スタンバイランプ

スタンバイ状態のときに、赤く点灯します。

AUXランプ

入力切換でAUXを選ぶと、緑に点灯します。

HDMI ARCランプ

入力切換でHDMI ARCを選ぶと、白く点灯します。

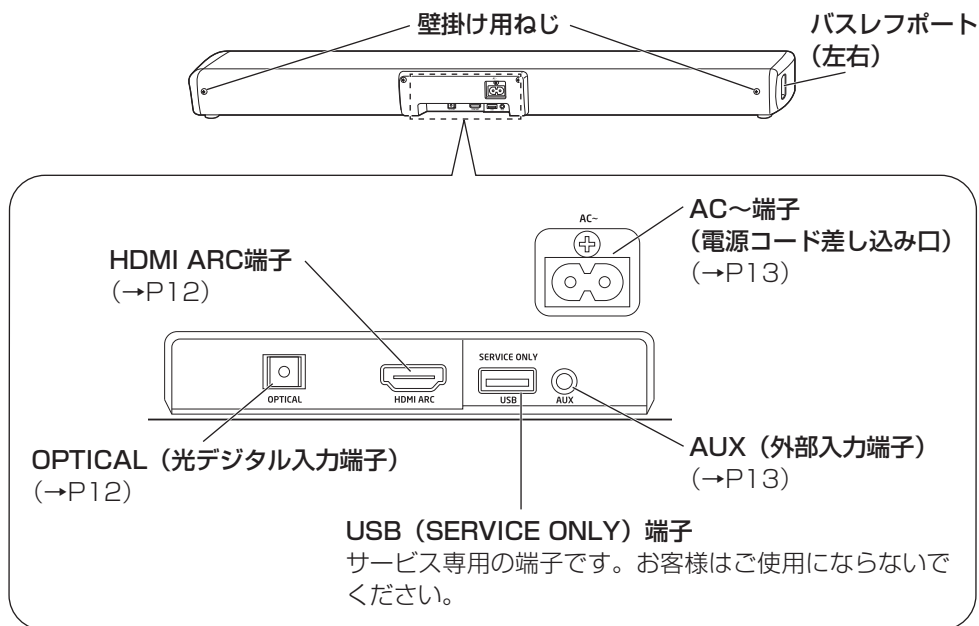
OPTICALランプ

入力切換でOPTICALを選ぶと、オレンジに点灯します。

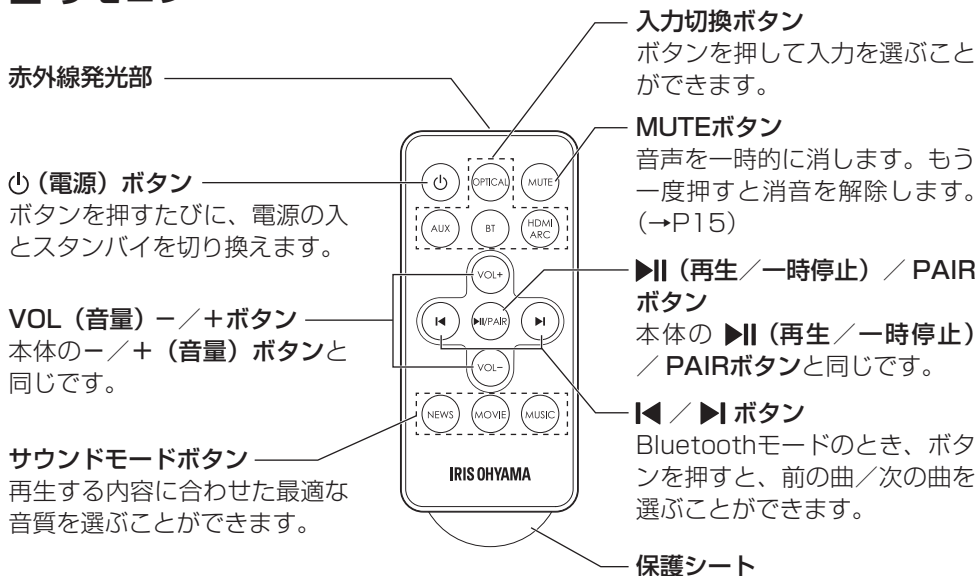
Bluetoothランプ

入力切換でBluetoothを選ぶと、青く点滅します。Bluetooth機器とのペアリングのサーチ中は速く点滅します。ペアリングが成功すると青く点灯します。

■ 本体背面



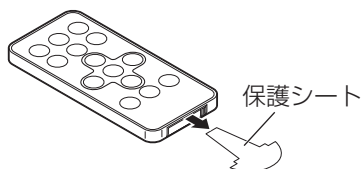
■ リモコン



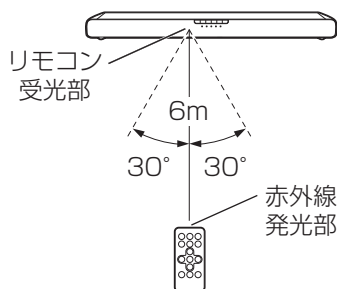
各部の名称 つづき

■ 使いかた

- ・ 使用開始前に、電池の保護シートを引き抜いてください。



- ・ リモコンの赤外線発光部を、本体正面に向けて操作してください。

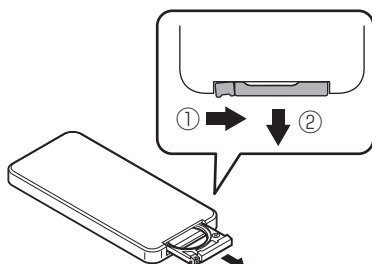


■ 電池の交換方法

操作範囲がせまくなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、新しい電池 (CR2025) に交換してください。

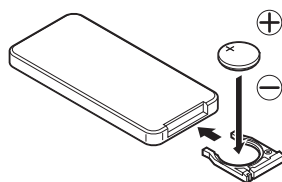
1 電池ホルダーを引き抜く

- ・ つめを矢印方向へ押さえながら、引き抜いてください。



2 新しい電池をセットする

- ・ 正しい向きにセットし、リモコン本体に差し込んでください。



注意

● 電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。「リモコンの電池についての注意」をよく読んで使用してください。

- 電池の表裏を間違えないでください。
- 使い終わった電池は、電池のパッケージに記載された廃棄方法、またはお住まいの自治体の取り決めにしたがって廃棄してください。

設置する

- テレビの音声を聴くときは、テレビ画面の下または上に設置してください。
- テレビの画面、操作ボタンや表示ランプ、リモコン受光部などをささげらないようにしてください。



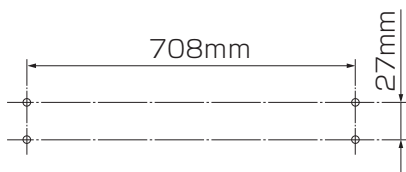
注意

- 水平で平らな、安定した台の上に設置してください。
- 本機の上にテレビを載せないでください。

■ 壁に設置する場合

1 取り付け位置を決め、ねじ穴を開ける

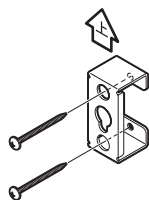
- 下図の寸法でねじ位置に下穴を開けてください。



- ※ 本体の左右には低音を豊かに再生するためのバスレフポートがあります。本体の左右をふさぐと、低音の十分な再生ができません。
- ※ ねじの径は4mmです。ねじがしっかり固定できる大きさの穴を開けてください。
- ※ コンクリート壁に取り付ける場合は、径6mm・深さ32mmの穴を開け、付属のアンカーを打ち込んでください。

2 壁付け用金具を取り付ける

- 付属のねじ、または壁の材質にあった適切なねじを使用して、取り付けてください。
- ※ 金具は正しい向きに取り付けてください。

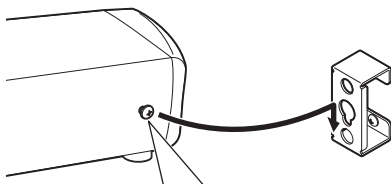


注意

- 取り付けする壁の強度や材質に注意してください。
- 壁の材質によって、適切なねじを使用してください。

3 本体背面の壁付け用ねじをゆるめ、壁付け金具の穴に差し込んで留める

- 穴に差し込んだ後、下に押さえて、しっかり固定してください。
- ※ がたつく場合は、ねじを少し締めて、ねじの頭と本体のすき間を調整してください。



取り付け後にがたつかないように調整してください。

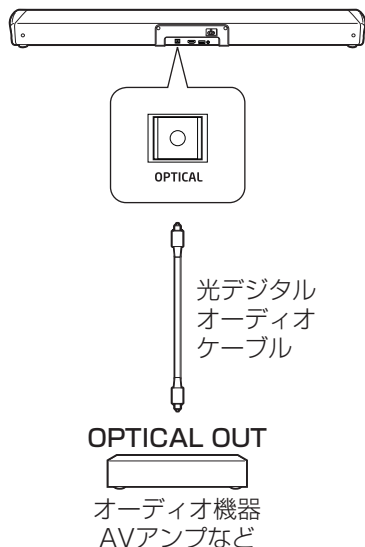
2~3mm

接続する

■ OPTICAL（光デジタル入力端子）

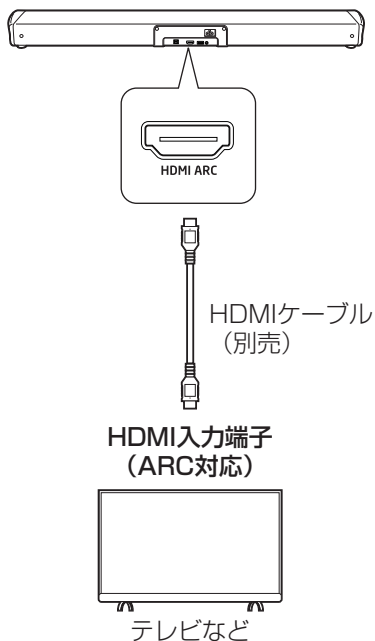
- 光デジタル出力端子のあるオーディオ機器などと、付属の光デジタルオーディオケーブルで接続してください。
- OPTICAL（光デジタル入力端子）、および付属の光デジタルオーディオケーブルの先端にはキャップが付いています。接続する前に外してください。

※接続するオーディオ機器の光デジタル出力端子が丸型の場合は、市販の角型プラグ⇔丸型プラグの光デジタルオーディオケーブルで接続してください。



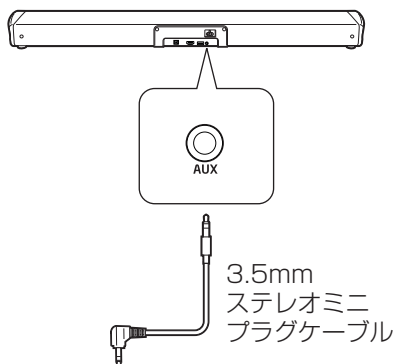
■ HDMI ARC端子

- テレビなどのARC対応HDMI入力端子と、市販のHDMIケーブルで接続してください。
- ※接続するHDMI機器と連携操作するには、HDMI-CEC規格に準拠したHDMIケーブルを使用して接続してください。



■ AUX（アナログ音声入力端子）

- ゲーム機やポータブルオーディオプレーヤーなど、3.5mmステレオミニジャックの音声出力端子のある機器と、付属のステレオ音声ケーブルで接続してください。



音声出力端子

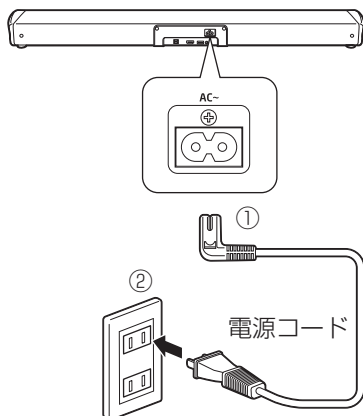


ポータブルオーディオプレーヤー、
ゲーム機など

※テレビのヘッドホン端子など、音量調節のできる端子に接続するときは、テレビ側の音量を最大にしてください。音声を聴くときの音量調節は、本機で行います。

■ 電源コード

- ① 付属の電源コードの本体差し込みプラグを、本機のAC～端子（電源コード差し込み口）に接続してください。
- ② 付属の電源コードの電源プラグを、コンセントに接続してください。



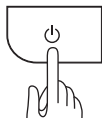
Bluetooth機器との接続について

Bluetoothは、無線で接続（ペアリング）を行う必要があります。詳しくは16ページをご覧ください。

使いかた

■ 電源の入／切

- (電源) ボタンを押すたびに、電源の入／スタンバイが切り替わります。



- スタンバイ中は電源ランプが赤く点灯します。

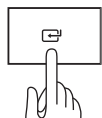


- 15分間何も信号の入力がないと、自動的にスタンバイになります。

- **HDMI ARC**または**OPTICAL**入力の場合は、接続した機器の「デジタル音声出力」のフォーマットを「PCM」にしてください。「ビットストリーム」で出力すると、本機から音声が出ません。
- テレビなどの機器のHDMI ARC端子と接続して、テレビの「HDMI連動」の設定を「オン」にしておくと、スタンバイ中にテレビの電源を入れたときに、入力切換が**HDMI ARC**になって、自動的に電源が入ります。
- スタンバイ中に、**AUX**（外部入力端子）に接続した機器から信号の入力があると、入力切換が**AUX**になって、自動的に電源が入ります。

■ 入力切り換え

- (入力切換) ボタンを押すたびに、入力が切り換わります。

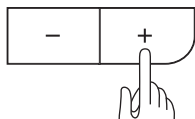


- リモコンの入力切換ボタンで入力を選ぶこともできます。

入力	ランプ	リモコンのボタン
AUX (アナログ音声入力)	緑	
Bluetooth接続	青	
OPTICAL (光デジタル入力)	オレンジ	
HDMI ARC	白	

■ 音量の調節

- 本体の－／＋（音量）ボタン、またはリモコンの**VOL**（音量）－／＋ボタンで調節してください。
- 音量の調節中は、使用中の入力切換のランプが速く点滅します。



■ 消音

- リモコンの**MUTE**ボタンを押すと、音声を一時的に消すことができます。
- 消音中は、使用中の入力切換のランプがゆっくり点滅します。
- もう一度**MUTE**ボタンを押すか、音量ボタンを操作すると、消音は解除されます。



■ 音質の調節

- リモコンのサウンドモードボタンで、再生する内容に合わせた最適な音質を選ぶことができます。

	ニュース番組など、人の声が聞き取りやすいように音質を調節します。
	映画などの視聴に適した、臨場感のある音質にします。
	音楽の視聴に適した、フラットな音質にします。

■ HDMI機器との連携操作

- **HDMI ARC**端子に接続した機器の、「HDMI連動」の設定を「オン」にすると、接続した機器から本機を、以下のように連携操作できます。

電源を入れる
音量調節

※ HDMI機器で本機を連携操作するには、接続するHDMI機器がHDMI-CEC規格に対応している必要があります。また、HDMI機器と本機をDMI-CEC規格に準拠したHDMIケーブルで接続する必要があります。

Bluetooth機器の音声を聴く

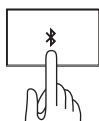
■ 接続（ペアリング）

Bluetooth機器と接続して音声を再生するには、最初にペアリングを行ってください。

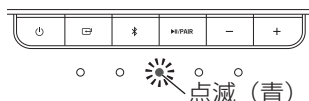
※Bluetooth機器を接続するには、本機から8m以内で、障害物のないところで使用してください。

※すべてのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。

1 電源を入にして、本体の※（Bluetooth）ボタンまたはリモコンのBT（Bluetooth）ボタンを押す



- 本体のBluetoothランプが点滅します。



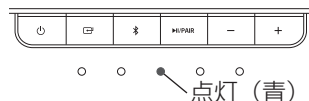
2 接続する機器でBluetoothの接続画面を開き、「IRIS HT-SB115」を選ぶ

※パスキーの入力を要求されたら、「0000」を入力してください。

※「IRIS HT-SB115」が表示されないときは、▶||（再生／一時停止）／PAIRボタンを押してください。本体のBluetoothランプが点滅します。

接続が成功すると

- Bluetoothランプが点灯に変わります。



- 本機は、前回接続した機器に自動で接続しようとします。他の機器に接続し直す場合は、一旦接続を解除してから、接続し直してください。

接続を解除するには

- 以下のいずれかの方法で接続を解除できます。

本体の電源を切る

接続した機器のBluetooth機能を停止するか、電源を切る

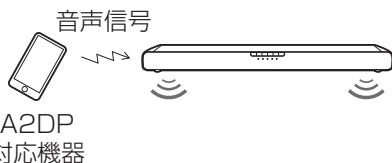
本体またはリモコンの ▶||（再生／一時停止）／PAIRボタンを5秒以上長押しする

- 接続が解除されると、Bluetoothランプが速く点滅します。

■ 再生

- 接続（ペアリング）したBluetooth機器を再生すると、本機から音声が出力されます。

※Bluetooth接続する機器の音声を再生するには、接続する機器がA2DPに対応している必要があります。



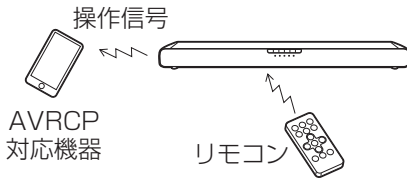
無線機能使用について

- ・ 接続（ペアリング）したBluetooth機器を、本機から操作することができます。

▶▶：再生／一時停止

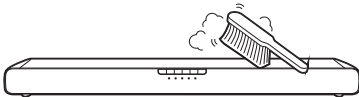
◀▶：スキップ（選曲）

※ Bluetooth接続する機器を本機で操作するためには、接続する機器がAVRCPに対応している必要があります。



お手入れ

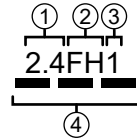
- ・ ほこりなどが付いた場合は、ブラシなどで払ってください。



※ 汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

■ 周波数表示の見かた

周波数表示は定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz帯を使用
- ② 変調方式としてFH-SS 方式を使用
- ③ 電波与干渉距離10 m以下
- ④ 2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用

本機の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本機の無線機能を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止したうえ、アイリスコール（裏表紙記載）にご連絡ください。
- 3 その他、何かお困りのことが起きた時は、アイリスコール（裏表紙記載）へお問い合わせください。

無線機能使用について つづき

■ 機器認定について

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- ・ 分解・改造する
- ・ 定格銘板を消したり、はがしたりする

■ 他機器からの影響

無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した他の機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・ 本機とBluetooth機器を接続するときは、他の無線LAN搭載機器から10m以上離れたところで行う。
- ・ 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

■ 他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- ・ 病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ・ 自動ドアや火災報知機の近く

■ 使用上の注意

- ・ 本機は、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、使用環境および設定内容等によってはセキュリティーが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時は注意してください。
- ・ ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本機と接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- ・ 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

■ 通信可能範囲

見通し距離 約8m以内で使用してください。

ただし、周囲の環境、建物の構造によっては、通信可能範囲が短くなることがあります。

- ・ Bluetooth接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ・ 無線LANが構築されている場所
- ・ 使用中の電子レンジの周辺
- ・ その他の電磁波が発生している場所

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。(→P13)
	● 電源コードの本体差し込みプラグが、本機のAC～端子(電源コード差し込み口)に確実に差し込まれていない	● 電源コードの本体差し込みプラグを、本機のAC～端子(電源コード差し込み口)に確実に差し込んでください。(→P13)
電源が切れた	● 入力信号がない状態が15分続くと、電源はスタンバイ状態になる	● 使用するときは、再度  (電源) ボタンを押してください。
リモコンが操作できない	● リモコンの赤外線発光部を本機のリモコン受光部に向けていない	● リモコンの赤外線発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	● 直射日光や照明の強い光がリモコン受光部に当たっている	● リモコン受光部に強い光を当てないでください。
	● リモコンの電池が消耗している	● 新しい電池に交換してください。(→P10)
	● リモコンと本体の距離が離れすぎている	● 本体正面に向かって、6m以内の距離で操作してください。
	● リモコンと本体の間に障害物がある	● リモコンと本体の間の障害物を取り除いてください。
	● 電池の極性(⊕ ⊖)が逆になっている	● 正しく入れ直してください。(→P10)

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる原因	処 置
リモコンで接続した機器の操作ができない	● 操作する機器が、入力切 換で選ばれていない	● 操作する機器の入力を選んで ください。(→P14)
接続した機器 (テレビなど) から本機が操作 できない	● HDMI ARC以外の入力 端子に接続されている	● 接続した機器 (テレビなど) から本機を操作するには、 HDMI ARC 端子に接続し、 機器側の設定で「HDMI連動」 を「オン」にしてください。
	● 機器側の設定で、「HDMI 連動」が「オフ」になっ ている	
音 声 が 出 な い	● 入力切換が正しく選ばれ ていない	● 音声を再生する機器を接続 した入力を選んでください。 (→P14)
	● 消音になっている	● リモコンの MUTE ボタンを 押して消音を解除してくださ い。(→P15)
	● HDMI ARCに接続した 機器 (テレビなど) の「ス ピーカー設定」が「外部 スピーカー」になってい ない	● 機器の「スピーカー設定」を 「外部スピーカー」にしてく ださい。
	● OPTICALまたはHDMI ARCに接続した機器の 音声信号が、「PCM」に なっていない	● 機器のデジタル音声出力の フォーマットを「PCM」に 設定してください。(→P14)
Bluetooth接 続した機器の音 声が出ない	● Bluetooth機器と正しく 接続 (ペアリング) され ていない	● ペアリングをやり直してくだ さい。(→P16)
	● 接続したBluetooth機器 が再生されていない	● 機器の音声を再生してくださ い。

状 態	考えられる原因	処 置
音量が低い	● 音量が小さく設定されている	● －／＋（音量） ボタンで音量を大きくしてください。 (→P15)
	● Bluetoothで接続した機器の音量が低い	● Bluetoothで接続した機器の音量を上げてください。
	● AUX で、ヘッドホン端子に接続した機器の音量が低い	● 機器のヘッドホン端子に接続した場合は、機器の音量を上げてください。
雑音が出る	● 各接続が確実にされていない	● 各接続を確実にしてください。
特定の入力で雑音が出る	● 接続した機器に問題がある	● 接続した機器をチェックしてください。 ● 別な入力に接続してみてください。
接続しようとする機器のBluetooth設定画面で本機（IRIS HT-SB115）が見つからない	● 本機がBluetoothモードになっていない	● 入力切換でBluetoothを選んでください。
	● 本機がペアリングモードになっていない	● 機器の画面で見つからないときは、 ▶ （再生／一時停止）／ PAIR ボタンを5秒以上長押ししてください。(→P16)
	● Bluetooth機器が離れすぎている	● Bluetooth機器を近づけてください。(約8m以内)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコールへお問い合わせください。



警告

● 自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源	AC 100V、50 / 60Hz	
消費電力	12W	
待機時消費電力	0.5W以下	
最大出力	15W+15W	
形式	バスレフ型	
再生周波数帯域	40Hz～ 20kHz	
入力	HDMI ARC	HDMI端子（ARC対応）
	OPTICAL	光デジタル角型端子（PCMのみ）
	AUX	3.5mmミニジャック（アナログ音声）
	Bluetooth	Bluetooth
使用環境	温度	5 ～ 35℃
	湿度	20 ～ 80%
本体寸法	幅800×奥行84×高さ66mm	
本体質量	1.5kg	

Bluetooth部

バージョン	Bluetooth® Ver.4.2
最大通信出力	20dBm以下
通信周波数帯域	2,402 ～ 2,480MHz
対応プロファイル	A2DP、AVRCP

リモコン

仕様電池	CR2025
------	--------

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

愛情点検



長年ご使用のサウンドスピーカーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気をを感じる
- 電源を入れても、音が出ないことがある
- 電源を切っても、音が消えないことがある
- 内部に水や異物が入った

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

サウンドスピーカー HT-SB115

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間	お買い上げ日より：1年間 ただし、付属品を除く
お客様	お名前	※ 販売店	住所・店名
	ご住所 〒		
	電話 () -		電話 () -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼にできない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
- お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは

アイリスコール（通話料無料）

0800-919-0770

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは（通話料無料）

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください